

厚木市人口ビジョン (案)

平成72年(2060年)目標人口 197,617人

①合計特殊出生率を上昇させ2045年以降2.07とする。 ②20歳代の定住促進・転出抑制を図る。

今週の活動から



1月10日(日)荻野運動公園で行われた厚木市消防出初め式。会場には子ども連れの家族がたくさん来場し、消防車両やバイクに乗って記念撮影。議員団も、観閲車を先導した真っ赤な2台のバイクの前でパチリ。
今年4月からは、消防広域化により清川村も厚木消防に含まれます。「無防備な心に火災がかくれんぼ」消防団員募集中！
(右：釘丸久子議員、左：栗山香代子議員)

1月の法律相談

1月20日(水)13時30分～

前日迄の連絡を！

厚木市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

～将来にわたって活力あるまちの礎を築く～

目標人口の実現に向け、平成27～31年度に取り組む基本目標や施策の方向性などを位置付ける

達成指標 現状→平成31年	基本目標	施策の方向性
合計特殊出生率の上昇 1.28 → 1.42	1. 若い世代の結婚・出産・子育てへの希望と未来を担う子どもたちの夢をかなえる ～結婚・子育てに関する希望の実現～	①結婚の希望を叶えるため出会いと交流の場の創出 ②妊娠から出産、子育て期にわたる支援の充実 ③仕事と子育てを両立できる環境づくりの促進 ④子どもたちが夢と希望を持ち続け、夢へのチャレンジ精神を高める教育プログラムの推進
定住促進 20歳代の 社会増減数 ▲187人 →▲90人	2. 住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちを創出し、全国に発信することにより新たな人の流れをつくる ～若い世代を始め、あらゆる世代から選ばれるまちの実現～	①豊かな自然環境との調和を図りつつ、機能的で利便性の高いまちづくり ②「選ばれる都市」を目指し、あつぎの魅力を都市ブランドとして確立し、全国に発信 ③若い世代の市内企業への就職支援と定住促進 ④東京オリンピック・パラリンピックに向け情報発信強化、観光資源活用と地域資源創出
	3. 市民が生きがいを感じ、健康で安心して暮らせるまちづくりを推進 ～あらゆる世代がいきいきと生涯にわたり健康に暮らせるまちの実現～	①市民の健康保持増進を図るとともに、学ぶ場と活躍の場を創出 ②災害発生時における対応力を高め、市民生活の安心・安全の向上
	4. 人口減少による将来への影響を見据えた自主・自立のまちづくり ～将来にわたって持続可能なまちの実現～	①強い財政、強い組織づくり、市民協働の充実 ②老朽化した公共施設の最適化計画の推進 ③広域的な課題解決や効率的な行政運営を図るため、都市間連携を推進
雇用の創出 事業所(数) 10610→11100 就業者(人) 152191→159800	5. 働く場をつくることにより、定住者を増やし経済活動を盛んにする ～働く場を確保し、安定して働くことのできるまちの実現～	①地域経済の活性化や雇用の創出に大きな役割を果たす企業誘致の推進 ②中小企業の正規雇用拡大、労働生産性の向上、円滑な事業承継を支援

一昨年、人口減少が大きな社会問題となり、国は全自治体に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をつくることを命じました。既に各自治体は「総合計画」を持っており、将来の人口推計、福祉・経済を含めたまちづくりを考へてきました。屋上屋を架すかのような総合戦略については多くの

批判があります。45年も先の人口目標に誰が責任を負うのか。現在の職員は誰もいない。減少し続けてきた合計特殊出生率が2.07に到達できるのか、夢物語ではないか、等々。
厚木市は、人口ビジョン(案)とまち・ひと・しごと創生総合戦略(案)を作成し、現在、市民の

みなさんから意見を募集しています。左に基本目標と施策の方向性を一覧表にしました。
詳しくは、広報あつぎ(1月1日号)や市のHPにもありますが、市役所や各公民館などにも置いてありますので、どんどん意見を出しましょう。期間は1月8日から2月12日までです。